

7 キャンパス等充実に関する事項

1 施設・設備・備品等について

本学における施設・設備・備品等は、長期計画による教育・研究・エクステンション等の諸施策に則し、長期財政計画と各キャンパスの立地条件を踏まえながら計画的に整備していくこととしている。第5次長期計画における新たな取り組みが円滑に遂行されるよう、各キャンパスおよび設置学部の特長、地域性、キャンパスの歴史等を勘案しつつ、次の視点にもとづき整備している。

- ① 本学が展開する多様な教学活動を支え、その効果が十分あげられるよう整備する。
- ② 学術研究・諸科学の発達に十分対応し得るよう、計画的に整備する。
- ③ 「課外活動基本方針」に基づき、学生の意見を聞きながら計画的に課外活動施設等を整備する。
- ④ 施設・設備等を地域社会に開放し、地域社会に貢献するキャンパス創りを目指す。
- ⑤ 大学構成員の意見を聞きながら施設・設備を充実し、これらを含めたキャンパスアメニティの向上に努める。
- ⑥ すべての施設のバリアフリー化を目指す等、障がい者にとっても快適な環境を整備する。
- ⑦ 省エネルギーをはじめとする環境に優しい大学創りに努める。
- ⑧ 教学活動や学生生活を積極的に支援する立場から、施設・設備・備品等の管理責任体制を明確にし、適切な維持・管理に努める。

1 深草学舎における施設・設備・備品等の整備

● 深草学舎における新棟の建設

深草学舎における施設改修事業として、2012年後期からの利用開始を目指し、新棟（地上4階地下2階、延床面積約15,000㎡）を建設する。政策学部開設に必要な施設で、1号館の代替施設となり得るよう教室を中心とする建物で、1号館や学生会館等施設の再取得に繋がる施設でもある。

● 衛生設備の充実

感染症予防対策として、各洗面所の自動水栓化およびハンドドライヤー設置を2009年度から4ヵ年計画で実施している。3年目となる2011年度も引き続き洗面所を整備し、衛生環境の向上に取り組む。

● 中央監視システムの整備

2010年度の中央監視システム更新とBEMS(Building

Energy Management System)導入に引き続き、今年度は深草学舎の各建物に端末伝送装置を設置し、中央監視機能を向上させエネルギー管理の効率化を図る。各建物の空調装置の運転の効率化を図ることを主たる目的としており、省エネの推進を目指すものである。

● 施設整備

6号館の省エネ対策として、ガラス窓・扉に遮熱フィルムを貼るほか、6号館エレベータ2基の更新、地デジ対応や各種営繕工事等を行い、安全で快適な環境を整備する。

2 大宮学舎における施設・設備・備品等の整備

● 教育・研究・課外活動等の環境整備

2011年4月に開館する龍谷ミュージアム、および2011年3月に清風館南校地に竣工した新研究棟、「白亜館」の安定運営に取り組むほか、大宮学舎の教育研究・課外活動等の環境保全に努める。

● 施設・設備の更新

屋外掲示板整備や西麓高圧受電盤更新等、安全で快適な環境を整備する。

● 衛生設備の充実

感染症予防対策として、各洗面所の自動水栓化およびハンドドライヤー設置を2009年度から4ヵ年計画で実施している。2011年度も引き続き洗面所を整備し、衛生環境の向上に取り組む。

3 瀬田学舎における施設・設備・備品等の整備

● 省エネルギー対策工事<3年目>

4号館の照明器具を省エネルギー対応の器具に改修し、省エネルギー推進を図る。

● 食堂・喫茶厨房機器の整備<2年目>

瀬田学舎厚生施設（青雲館・青志館・RECホール）の食堂・喫茶厨房機器を更新し、厚生施設の充実を図る。

● 理工学部・理工学研究科の教育研究装置及び特別研究設備の整備

理工学部・理工学研究科の教育・研究に使用される「インタラクティブ・アンビエント・メディア研究設備（体験型メディア空間実験装置）」を調達・整備する。

● 合宿施設の環境整備工事の実施

本学学生団体の合宿や、ゼミにおける教育研究活動に使用している「龍谷荘(瀬田)」取得にともない、今後長期に渡る建物及び期間設備の安定した稼働と利用を可能にするため、建物の部位・設備などの劣化や機能低下に対し、修繕・更新工事を実施する（10年計画のうち1年目）。

2 情報システム関係について

2011年度は、学生のコミュニケーションツールであるメール環境の更新を行うとともに、学生証ICカードを用いたサービスの提供について、関係部署と検討調整を行いつつ推進する。また、現在開発を行っている次期基幹事務システムについては、当初計画とおり開発を進め、順次稼働させ機能を向上させていく予定である。

1 基幹ネットワークの整備

●クラウドサービスの導入

Google社が提供しているGmailサービスを利用し、学生が利用しているActive! Mailの契約期間満了に伴う、新たなメールシステム及びコミュニケーションツールとして、Gmailの導入を行う。GmailはこれまでのActive! Mailより大幅に保存容量が大きくなるため多大なデータ保存が可能となり、情報の共有化やコミュニケーションが円滑になることが見込まれる。

●テレビ会議システムの構築・更新

2010年度に、深草、大宮、瀬田学舎に導入したテレビ会議システムを安定稼働させる。また、教育・研究及び業務効率の向上等が可能となるよう、マニュアルの整備を行い一層の利用促進を図る。

2 情報教育環境の整備

●情報教育システムのリプレイス

情報教育システムのリプレイスを2009年8月に実施し、

3学舎統一した情報教育環境の整備を行った。また、大宮学舎清風館情報実習室の新設や、クライアント数増加など、より学生と教員の利便性を考慮した情報教育環境の拡充を進めた。2011年度は、今後必要とされる学内のユビキタス環境、コンピュータリソースのインターネット(Web)を介して学外からアクセス利用が可能となるようセキュリティ対策を意識した情報教育環境の充実に向けて引き続き整備する。

●情報教育リテラシー支援プログラムの充実

教育改善の対応策として、全学共通の情報教育リテラシー支援プログラムの充実を図る。また、学生の情報教育リテラシー理解度を確認しつつ、その向上に向けた円滑な授業運営を支援するとともに、社会情勢などを考慮して、学生のニーズにあう内容になるよう調整を進める。

3 事務システムの整備

●基幹事務システムリプレイス

2010年度に行ったシステム要件定義による基本設計を元に、2011年度は機能開発や検証を行い、学事系(教学系)システムは2012年春を目処に、法人系・研究系システムは、2011年秋より段階的に新しく稼働させていく。

●証明書自動発行機リプレイス

現在、3キャンパス及び大阪梅田キャンパス等に設置している証明書自動発行機(現状計10台<事務所内発行システムを含む>)について、機能強化と台数増などの検討を加え、更なる学生の利便性向上を目的としたリプレイスを行う。